



# 現代を生きる

## 感じたことを 音に託して伝えたい

ギタリスト

関 ヒトシ<sup>さん</sup> (ビトエ)

River Breeze



当別をイメージして製作されたアルバム

風景や思い出などを音にすることで自分を表現し、音楽の持つ可能性を追い求めている関さん。

当別に移り住んでから4年間の思いを込めたサードアルバムを今年1月にリリースしました。

### 当別での生活はどうか

東京や札幌でマンション暮らしを続けていたのですが、曲を創ることは向いていないと感じていました。そこで、作曲ができるような生活場所はないかと探していたところ、この土地にたどり着きました。

ずっと自然が豊かで田畑に囲まれた土地で生活することが夢だったので、心地よい風や季節ごとに変わる景色など、自然を感じながら生活することができてとても満足しています。

家の敷地で地域の方を誘ってミニライブなどをして、楽しく生活しています。

### アルバムには、当別への思いが吹き込んであるんですね

当別に来ると、風景がとてもきれいで創作意欲がわいてきます。

どこでも同じ音が創れるわけではなく、創作する場所、生活する場所が変わればできる音も変わってきます。今回のサードアルバムは、当別での4年間の生活の中で自分が感じたこと、景色を見てイメージしたことを曲にしました。

当別にきて一番最初に創った曲は、住んでいる場所をイメージした「ビトエ……冬」という曲です。やはり、自分が住んでいるところには思い入れがあるので、それを一番曲にしてみました。

地域の特性などを伝えることが

できればと考えているので、町外の方にも音楽を通してこのまちの良さを伝えていきたいです。

### 多くの音とふれあうことで可能性が広がりますね

みなさんは、ギターで民謡を弾くことは、イメージがわからないと思うのですが、これが意外に面白いのです。アレンジ方法を変えながら民謡を演奏していると、なかなか聴き応えのある音生まれるのです。最近は、色々な楽器、演奏者と一緒にセッションすることが多く、オリジナル音楽をメインに活動しています。これからも、たくさんの方に自分の音を聴いてもらえるように、音楽活動の幅を広げていきたいと思っています。